

学年・教科	第3学年	技術・家庭（技術分野）	担当者 笠原 武
学習目標 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築するために必要な能力を身につける。			
指導計画		学 習 内 容	
○製作学習 （木材加工） ・設計のまとめ ・機能の研究 ・構造の研究 ・加工法の研究		1 学 期	○使用目的に合った設計について考える ○使用目的に合う機能や構造を学ぶ ○木材の加工法を学ぶ ○工具・機器を用いて正確に作業する
○コンピュータの構成 ○情報モラル		2 学 期	○情報機器の構成について知る ○デジタルとアナログについて学ぶ ○ネットワークの構成について学ぶ ○情報セキュリティについて学ぶ
○情報通信ネットワークの活用		3 学 期	○情報モラルについて学ぶ ○インターネットを活用する ○プライバシー保護と著作権について学ぶ ○ネット上の情報を利用する
○計測・制御 ・プログラミング実験機器の 製作・制御			○計測・制御のプログラミングの構成を学ぶ ○計測・制御のプログラミングを活用し、実践する ○プログラミングを応用して、自分の望む制御をする
○デジタル作品の製作			○学習した知識を活用して、作品の構成と製作手順を考える
観点別評価の観点と主な方法について ○知識・技能 ・完成した作品 ・ペーパーテスト ・レポート ○思考・判断・表現 ・作品の制作過程 ・自己評価 ○主体的に学習に取り組む態度 ・授業中の取り組み状況 学習プリントの記入状況 生物の管理状況 学習過程における習熟状況			
学習のアドバイス ・授業内容をよく聞いて、繰り返し実践しよう ・失敗を恐れずに作業に挑戦しよう			
使用教材 ・木材加工用木材（杉プロジェクトBOX）・プログラミング学習用ロボット			